

第1回 市長フォーラム

趣旨・目的

いま「三位一体の改革」が正念場を迎えています。真の地方自治の確立を目指して、税源移譲、国庫補助負担金の廃止、地方交付税の確保を地方はどのように実現すべきか。地方六団体の各団体が苦労の末に、取りまとめ提出した「国庫補助負担金等に関する改革案」はその一つの手段であり、国がどう受け止め、投げかえすかが大きな焦点となっています。

また地方自治の体現といえる、住民自治による効率的な都市経営の実現のために具体的になにをすべきか。

これらをテーマに、市長や学識経験者等による日頃の経験、研究成果に基づくディスカッションを行い、会場参加者とともに真の地方自治の確立に向け、今後の課題の提起をしたいと考えております。

主催

全国市長会 財団法人日本都市センター

開催日時

平成16年11月10日(水) 15:00 ~ 17:00

開催場所

全国都市会館2階 大ホール
東京都千代田区平河町2-4-2

テーマ

分権のための三位一体改革と都市自治の確立
—住民自治による簡素で効率的な都市経営の実現—

進行

15:00	開会挨拶・問題提起 パネルディスカッション ①地方六団体の「国庫補助負担金等改革案」及び改革案を巡る動向 ②住民自治による効率的な都市経営のあり方 ③改革実現への戦略 フロアからの意見、質疑応答等 緊急アピール	全国市長会 会長 山出 保
17:00	閉会	

・全国市長会企画調整室
〒109-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 03-3262-2312
・財団法人 日本都市センター研究室
〒109-0093 東京都千代田区平河町2-4-1 03-5216-8771

パネルディスカッション 講師略歴

コーディネーター 影山 日出夫



1976年 NHK 入局、1982年 政治部記者、その後政治部副部長、「おはよう日本」編集責任者を経て、2000年よりNHK解説委員として「日曜討論」「あすを読む」「おはようコラム」などに出演中。

パネリスト

青山 彰久



1978年信濃毎日新聞社入社後、1988年より読売新聞社に勤務。1998年読売新聞社解説部主任、2001年より読売新聞社東京本社解説部次長に就任。また2003年より日本自治学会理事を務める。地方自治、行財政改革、情報公開などを幅広く担当。

著書に「よくわかる情報公開制度」、共編著に「住民による介護・医療のセーフティーネット」、共編に「三位一体改革とマニフェストが日本を変える」「平成デモクラシー—地方が攻める分権改革」がある。

金澤 史男



1977年東京大学経済学部経済学科卒業、1982年東京大学経済学研究科(博士)課程修了。その後、静岡大学人文学部経済学科助教授、横浜国立大学経済学部助教授を経て、1995年より横浜国立大学経済学部教授に就任。

また日本地方財政学会常任理事、日本財政学会常任理事、財務省昭和財政史執筆委員、神奈川県地方税制等研究会委員等を歴任し、地方財政に幅広く関与している。共編著に『現代の経済政策(新版)』『グローバル化と福祉国家財政の再編』、編著に『現代の公共事業』がある。

木村 陽子



奈良女子大学卒業、大阪大学大学院経済学研究科公共経済学専攻博士課程修了。

奈良女子大学教授、放送大学客員教授を経て、現在、総務省地方財政審議会委員に就任。

財務省財政制度等審議会臨時委員、内閣府男女共同参画会議影響調査専門調査会委員等を歴任し、国の地方行政に関与している。著書に『家族・世帯の変容と生活保障機能(社会保障研究シリーズ)』、『年金・医療保険論』、『自分を守るための年金知識』などがある。

佐竹 敬久



1972年秋田県庁に入庁、工業振興課長、地方課長、総務部次長などを歴任し、1997年県庁を退職。

2001年より秋田市長に就任。

2001年秋田県市長会会長に就任後、全国市長会副会長、全国市長会相談役、全国市長会財政委員会

委員長を歴任。2003年には政府税制調査会委員に就任し、国と地方の税財政問題に関与している。

小嶋 善吉



1979年から静岡県議会議員を4期就任。その後、1994年まで旧静岡市長を3期就任し、2003年清水市との新設合併を経て、現在、静岡市長に就任。

1999年静岡県市長会会長、2003年中核市連絡会顧問、2004年東海市長会副会長、2004年全国市長会相談役などを歴任。

西川 政善



1971年衆議院議員秘書を経て、小松島市議会議員に初当選。1975年から徳島県議会議員に連続4回当選し、議会運営委員会委員長、自由民主党県民会議副会長などを歴任。1989年、小松島市長に初当選し、現在4期目。

徳島県港湾協会会長、全国市長会財政委員会副委員長、全国市長会水産都市協議会会長を歴任し、様々な分野に関与している。著書に「やっぱり、教育。—親から子へ、子から孫へ。—」、「樺リレー—地方の復権と生活国家の共創—」がある。